

# 処理対象量の見直しについて (平成29年1月)

## 1. 豊島廃棄物等の処理対象量の推計結果

- 豊島処分地の掘削が完了したことから、平成29年1月13日に測量した結果、処理対象量は、約90万4千トンとなりました。

【今回の推計結果】(平成29年1月13日現在)

項目	体積(千m <sup>3</sup> )	重量(千トン)	密度(トン/m <sup>3</sup> )
処理対象量	617	904	—
廃棄物等	608	888	—
処理済量	591	862	1.46
残存量	17	26	1.58
直下汚染土壌	9	16	—
処理済量	5	10	1.83
残存量	4	6	—

## 2. 搬出スピードアップ対策

- 県では、調停条項で定められた本年度末までの搬出期限を厳守するよう、安全性が確認できた次の搬出スピードアップ対策を実施しています。

- ①「太陽」に積載するコンテナダンプトラックを18台から1台増車して、19台積載します。
- ②「太陽」に積載するコンテナダンプトラック1台あたりの廃棄物等の積載量を、1.5t増加させます。
- ③「太陽」で、廃棄物等の一部について溶融助剤を混ぜずに搬出します。
- ④「太陽」と別に、産業廃棄物収集運搬業許可業者が運航している「ことぶき丸」で、廃棄物等を搬出します。

- 今後とも豊島廃棄物等管理委員会の指導・助言を得ながら、搬出と処理に努め、最後まで安全と環境保全には万全を期してまいります。

## 3. 処理期間

- 対策を実施し、機械的な試算では、豊島からの廃棄物等の搬出については平成29年3月25日、直島での処理完了時期は平成29年5月12日になる見込みです。